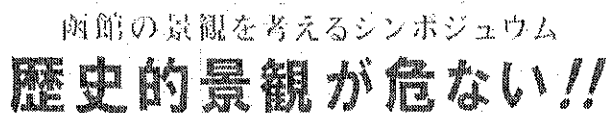


西部地区のあるべき姿とは

景観シンポ

(山崎純一)



されたシンポジウム

を見捨てることはできない」とした。篠崎さんは小樽で発

生しているマンシヨン建設問題
を挙げ、「市民運動の影が薄くなっているが、函館は（運動が）進んでいると思う」と話した。

参加した60代の女性には「先人が作った街並みや風土に感動しながら函館に住んでおり、守りたい気持ちはあるが、現代の人にとっては関係ないのかもしれない。改めて市民に函館の良さを知ってもらうことが大切と感じた」と話していた。